

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議の場では、様々な報告(勉強会、感染症対策、利用者様の状況等)を行ったり参加の方々より質問や意見を頂きながら進行を行ってきたが、より地域の一員や地域資源であることの認識を持ち、交流や機能を果たすことが課題である。	今まで以上に、積極的に地域住民他近隣へと呼び掛けを行い、研修会の実施や合同訓練、行事の開催や参加促進につなげる。交流が盛んになる事で、広く施設を認識して頂き、資源としての役割も果たしやすくなると考える。	・近隣住民宅はじめ広く行事や研修参加についての周知案内を呼び掛ける。 (例:救急救命講習等は5名からの受け入れ等を教えて頂けており、今後より積極的に実施を予定しているため、地域を巻き込んでの事に出来ればと考える。) ・自治会長の協力を今まで以上に仰ぎ、職員一人一人がより地域へと参加、交流できるように努める。	6カ月～12カ月
2	35	火災訓練は定期的実施しているが、他災害(水害、地震)における知識、対処や対策の理解不足が課題である。また地域との連携、協力体制や地域住民の方々との関係にも脆さや関わりの偏りがみられるのは重ねて課題である。	施設としての防災力を高めると共に、それを地域貢献出来るよう地域交流も高めていく。	・外部講師を招いたり学びの場への参加に努め、今まで以上に防災力を高める努力を行う。 ・自治会とも連携し、訓練の実施や情報共有を密に行っていく。	6カ月～12カ月
3	49	一人一人のその日の希望に添っては戸外に出掛けられていない。また家族様や地域の人々と協力しながらの支援も厳しい状況であったが、少しでも改善することを課題とする。	感染症対策、対応によってだが少しでも、その日の希望により外出散歩、外気浴、レクリエーションとしての実施、支援を増やす。 また家族様や地域の方がにも相談、協力を募りながら実施や交流を行う。	・その日の体制や利用者様それぞれの体調、認知症症状の状態状況に応じて、希望の確認また実施を十分に安全に配慮して行う。 ・前もって相談を行える場合には、家族様や地域の方がにも協力を願い、実施とする。 (例:例えば面会時間に合わせて施設周辺と一緒に外出散歩を行う。その流れで施設周辺の地域の方々の店先に顔を出し、交流や繋がりを持つ。)	6カ月～12カ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。

評価結果の通知を受けた日から概ね2週間から30日以内に作成し、市町と評価機関に提出してください。(提出必須)